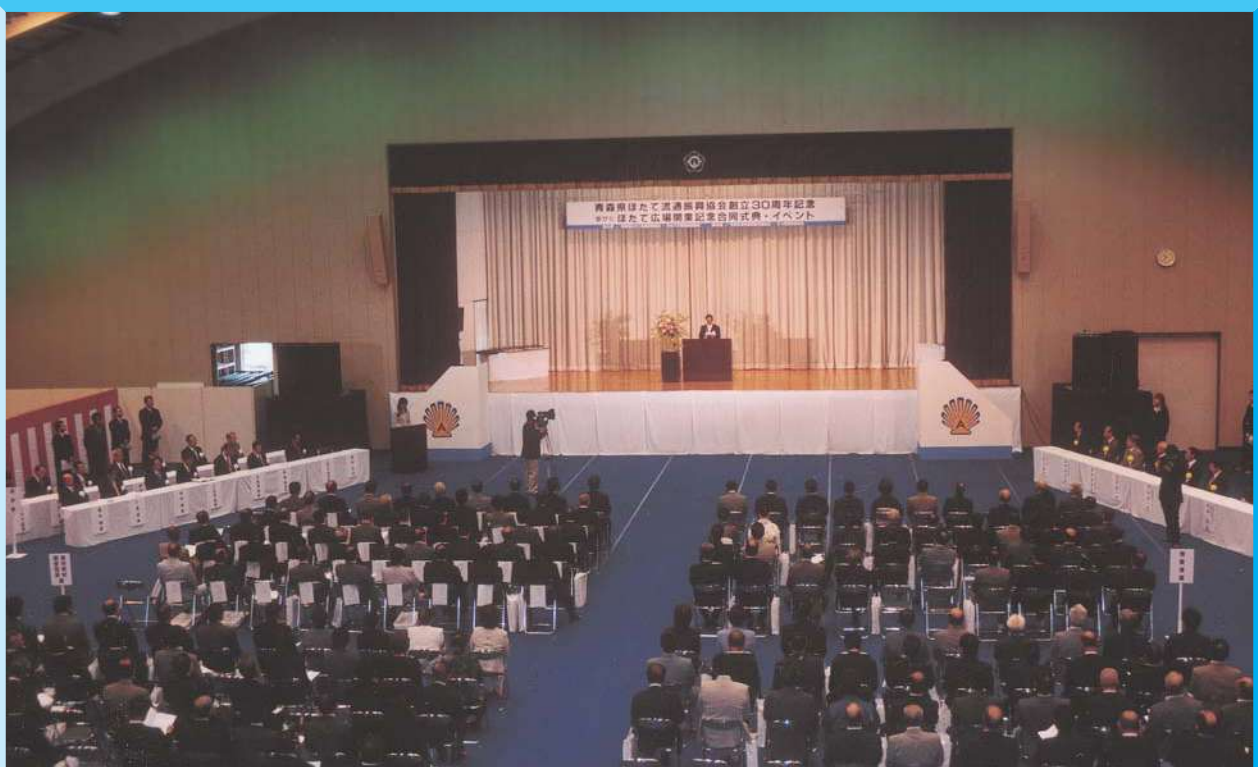


あおもり漁連

代表理事会長 植村正治書

資源有限 漁業無限

No.
139



青森県ほたて流通振興協会創立30周年記念並びにほたて広場開業記念合同式典・イベント

CONTENTS

青森県漁業協同組合連合会通常総会.....	1	水産に関する主な動き（4～6月）.....	10
青森県ほたて流通振興協会創立30周年記念…	3	浜の情報・話題.....	11
並びにほたて広場開業記念式典		ハマナス植樹	
青森県漁業共済組合創立40周年記念式典.....	5	北国青森のさけ・ほたてキャンペーン	
漁協合併推進状況.....	6	青森県漁業信用基金協会より	
「認定漁協」の認定期限は17年度末まで！！		共水連青森県事務所より	
六月十八日「ホタテの目」記念行事開催.....	7	青森県漁港漁場協会より	
学校給食へホタテ贈呈.....	8	漁協紹介（佐井村漁協）.....	14

2005 7

21世紀は漁村の時代

平成十七年度(第五十六回事業年度) 青森県漁連通常総会 開催



総会風景

平成十七年六月十四日、青森県水産ビル七階大会議室において、青森県漁連平成十七年度(第五十六回事業年度)通常総会が開催され、平成十六年度決算、平成十七年度事業計画、役員選任の件など八議案を審議、いずれも原案どおり承認決定した。

また、JF改革の実現に向けた特別決議を満場一致で採択した。



主催者挨拶を述べる植村会長



来賓挨拶を述べる長谷川出納長



議長を務める佐藤組合長

開催にあたり、植村正治会長は「本県の漁業情勢をみますと、会員漁協におかれましても恒常的な低落傾向が解消されない中で大変困難な経営を強いられ、そして昨年は台風や低気圧が度重なり上陸、漁船や漁業施設等に甚大な被害を与え、水揚げにも大きく影響したところでございます。漁業の中核組織であります漁協が苦しい経営から脱却し、その基礎を盤石なものとし、いかなる逆境にも左右されない強い組織となることが喫緊の課題であります。昨年十一月一日、「JF(漁協)改革推進大会」と銘打って、第十三回活力と魅力溢れる漁村づくり青森県大会を開催。漁協経営の合理化、合併等を推し進め、漁業・漁村の持つ多面的機能を

を十二分に発揮することができる自立漁協を構築し、国民に期待される明るい漁業・漁村を構築していかねければなりません。また、つくり育てる漁業につきましては、今後も増養殖漁業を推進し、幼稚仔の放流やその幼稚仔を培養するための魚礁等、漁場を造成していかねばなりません。さらに、青森県域における特性ある水産物のブランド化、下水道の整備、交通アクセスの整備等水産資源に良好な漁場環境を保全し、魅力ある住み良い漁村の生活環境の構築に取り組んで参りたい」と挨拶を述べた。

続いて、来賓を代表して三村申吾青森県知事(長谷川義彦出納長代読)より祝辞があり、議事に入った。

青森県漁連新専務理事・抱負



久保澤 正 専務理事

本年6月14日開催の通常総会において理事に選任され、同日開催された理事会において専務理事に選任されました久保澤です。

私は、入会以来、職員として販売課（駐在）、ほたて課、購買課、指導課、総務課と32年間勤め、さらに常務理事として4年間、県漁連の経営の一端を担わせていただきました。

今般、専務理事に選任されましたが、今後も県漁連の使命であります会員の発展と県下漁業者の生活安定及び向上を図るため、会員の要望への素早い対応と決断、漁協合併推進、そして、あらゆる問題への対応等を実践して参る所存でありますので、会員皆様のご協力とご指導・ご助言をお願い致します。

議事は、佐藤博小泊漁協組合長を議長に選出し、第一号議案の平成十六年度収支決算に関する件を始めとする八議案が上程され、いずれも原案どおり承認決定された。

また、役員選任については、次のとおり承認され、さらに「J F改革の実現に向けた特別決議」が満場一致で採択された。

監事	代理	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	専務理事	副会長	代表理事		
表											事		
監											事		
事	成	赤	角	川	三	泉	熊	柳	手	小	久	西	植
事	田	石	田	村	津	谷	谷	谷	間	出	保	崎	村
事	良	憲	順	春	廣	一	拓	政	政	明	正	義	正
事	雄	二	一	光	明	郎	治	一	信	明	正	三	治
	(新	(再	(昇	(新	(新	(再	(再	(再	(再	(新	(昇	(再	(再
	任)	任)	任)	任)	任)	任)	任)	任)	任)	任)	任)	任)	任)
	(横	(泊	(下	(青	(平	(大	(八	(三	(石	(員	(員	(船	(員
	濱	漁	前	森	内	間	戸	厩	持	外	外	作	外
	町	協	漁	市	町	漁	み	村	漁	理	理	漁	理
	漁	組	組	漁	漁	協	な	漁	協	事	事	協	事
	協	合	合	協	協	組	と	協	組	長	長	組	長
	組	長	長	組	組	合	漁	組	合			合	
	合			合	合	長	協	長	長			長	
	長			長	長		組						
							合						
							長						

平成17年度重点推進事項

1. 漁協経営基盤強化及び合併推進
2. 各種漁業の生産基盤強化及び増養殖事業等推進
3. 水産物の価格向上及び付加価値向上
4. 水産物の衛生管理
5. 漁家・漁協経営の安定・向上
6. 水産物及び水産製品の消費拡大
7. 漁業用石油類及び資材類の安定供給
8. 漁業環境保全
9. その他漁業者及び漁協の経営に資する事項並びに漁業振興に資する事項



J F改革の実現に向けた特別決議

「漁協合併促進法」の期限まで残すところ3年を切り、J F改革は正念場を迎えている。

組合員の高齢化や減少に加え事業取扱の縮減等により、J Fの事業利益は約10年間赤字の状況が続いており、このまま放置すれば、J F本来の役割すら発揮できなくなるという危機的な状況にある。

我々J Fグループは、燃油高騰と魚価安のダブルパンチにより困窮する漁業経営を支え、組合員の期待と信頼に応え得る「強いJ F」づくりへ、合併や事業再構築など、J F改革の実現に全力で取り組まなければならない。

よって、青森県J Fグループの総意で、自らの取組方向と、国・県・市町村等に対する要望について、以下の通り決議する。

記

1. J F改革の実現に向けた取組

- (1) 青森県J Fグループの「合併基本計画」を、促進法の期限までに完遂する。
- (2) 事業改革を通じて、組合員の経営安定に寄与し、健全な漁協経営を実現する。

2. 国・県・市町村等への漁協支援施設の確立要望

- (1) 「合併基本計画」の完遂に向けた連携を拡充・強化すること。
 - (2) 合併漁協の事業改革を支援する施策を講じること。
- 以上、決議する。

平成17年6月14日

青森県漁業協同組合連合会通常総会

青森県ほたて流通振興協会創立30周年記念

並びにほたて広場開業記念合同式典



県知事賞を受ける植村会長



挨拶を述べる植村会長



祝辞を述べる三村県知事



祝辞を述べる山内県議会議長



祝辞を述べる影山課長

去る六月十七日（金）、平内町立体育館において、青森県ほたて流通振興協会の創立三十周年記念とほたて広場開業を記念して、合同式典と記念イベントが開催され、県、市町村、並びに漁協、加工業者等多数が出席し盛大に行われた。

式典では、植村正治（青森県ほたて流通振興協会・ほたて広場運営協議会）会長が「ほたて流通振興協会は歴史の浅いほたて養殖の急速な生産に対処するため、

昭和五十年三月、ほたての品質改善、流通の合理化を図り、もって県内外における販路拡大を推進し、青森県のほたて産業の持続的発展を目的として設立され、以来三十年、青森ほたての普及活動を活発に行ってきた。さらに、この度創立三十周年を期して建設開業したほたて広場は、青森ほたての流通販売の拠点として地産地消の促進、都市と漁村の交流、市民との共生対流そして観光事業との合体



式典風景

等、魚食の素晴らしさを広く展開する場としても大いに期待するものである。今後はこれを契機に、これまで築き上げてきた『青森ほたて』のブランド化を今以上に広く内外へ周知すべく、将来の展望に立った事業を展開していく」と式辞を述べた。

このあと、青森県知事賞の贈呈式が行われ、三村申吾青森県知事から青森県ほたて流通振興協会と植村正治青森県ほた



祝辞を述べる逢坂町長



講演する小坂部長



北見恭子歌謡ショー

て流通振興協会会長に表彰状が贈呈された。

続いて、青森県ほたて流通振興協会会長賞の贈呈式が行われ、植村正治会長から団体功労表彰として青森県漁連ほか六団体、生産功績表彰として平内町漁協ほか十組合九支所、加工功績表彰として成邦商事株式会社ほか十四社、永年勤続役員表彰として小笠原鉄男氏ほか十一名、団体協力表彰として青森県水産総合研究センター増養殖研究所ほか三団体に表彰状並びに感謝状が贈呈された。

さらに、ほたて広場建設に対する感謝状として、植村正治ほたて広場運営協議会会長からRAB開発株式会社ほか4社に感謝状が贈呈された。

続いて、三村申吾青森県知事、山内和夫青森県議会議長、影山智将水産庁防災漁村課長、逢坂雄一平内町長が来賓として祝辞を述べ、祝電披露、三津谷公雄平内町議会議長の万歳三唱で式典を終了した。

午後からの記念イベントでは、青森県水産総合研究センター増養殖研究所の小坂善信ほたて貝部長による「ほたて貝天然採苗の安定化に向けて」と題した基調講演があり、参加した約千人の漁業関係者が勉強した。

そのあと、むつ湾内各地区の代表者八名による「のど自慢カラオケ大会」、最後は「北見恭子歌謡ショー」でイベントを終了した。

青森県漁業共済組合創立四十周年記念式典

去る、六月二十三日、青森県漁業共済組合の創立四十周年記念式典および祝賀会が青森県水産ビルで開催され、漁協並びに関係機関等多数が出席のもと盛大に行われた。

式典では、主催者を代表して三津谷廣明組合長が「中小漁業者の相互救済の精神を基調とし漁業経営の安定を図ることを目的として、昭和四十年二月に設立されて以来組合員をはじめ、関係団体等の暖かいご支援ご協力により、この度創立四十周年を迎えることができました。益々厳しい漁業情勢が続く今日において、『ぎよさい』が真に漁業経営の安定に役立つ制度として早期に確立するよう、これまで以上に制度の更なる充実と加入の一層の普遍化に向けて決意を新たにしたいと式辞を述べた。

このあと、来賓の三村申吾青森県知事（奈良岡修一県農林水産振興企画監代読）、渡邊静次全国漁業共済組合連合会会長（佐藤正敏全国漁業共済組合連合会専務理事代読）、植村正治青森県漁連会長が祝辞を述べた。

引き続き、感謝状・表彰状の贈呈式では、平内町漁協ほか五十五漁協、県漁連ほか六系統団体、今與造氏ほか三名の歴代組合長、根本俊治氏ほか一名の歴代専務理事へ感謝状贈呈、今忠夫氏ほか四名へ永年勤続役職員表彰状の贈呈を行い、式典を終了した。

祝賀会は、工藤洋悦県漁業共済組合専務理事の挨拶のあと、奈良岡修一県農林水産振興企画監の乾杯の音頭で祝宴に移り、熊谷拓治八戸みなと漁協組合長の万歳三唱で滞りなく終了した。



式典風景

『認定漁協』の認定期限は十七年度末まで!!

認定漁協については、全国で一八漁協（平成十七年六月一日現在）が認定され、本県では平成十六年十月四日に平内町漁協が、更に平成十七年五月十二日に八戸みなど漁協が認定されております。

認定漁協制度は、水産基本法の基本理念である「水産物の安定供給」、「水産業の健全な発展」などの実現のため、資源管理、担い手の育成などの水産業の新たな課題を担うことのできる基盤を備えた漁協を育成することを目的に平成十三年度に設けられた制度で、一定の組織規模・財務基盤・地域規模を有することが条件となりますが、国は、認定漁協に対し重点的・集中的な支援策をとっています。平成十六年度からは、認定漁協のみしか受けられない新たな支援事業として「経営構造改善事業」が組み込まれました。

更に、平成十七年からは①合併後の経済事業改革の取り組みに対応した「長期



事業運転資金」への利子支援事業、②産地での水産物流通事業の創出にかかる「国産水産物新需要創出ビジネスモデル事業」が新たに措置され、今後も認定漁協の事業改革を促す施策を強化する方向を示しております。

※「認定漁協」の期限と「事前認定」への対応について

「認定漁協」の期限は平成十八年三月末であり、水産庁は一貫して「単純延長

はなし」としています。

このため、平成十七年度末までに合併が不確実な地区については、「事前認定」を受ける必要があります。

認定は知事がありますが、合併をしようとする組合の「五ヶ年の基盤強化計画」を作成し、平成十九年度までに合併が確実である「誓約書」をもって、平成十七年十二月末までに県へ認定申請書を提出しなければなりません。

組合員がこの制度を知らずに「なぜあの時、認定をとらなかったのか」と非難されないためにも、合併についての協議等、早期の取り組みが必要です。

六月十八日「ホタテの日」記念行事開催



挨拶を述べる三津谷会長

青森ホタテのPRと消費拡大のために、青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会は、平成十年度に毎年六月十八日を「ホタテの日」と制定し、これを記念して、今年は四月に平内町にオープンした「ほたて広場」を会場に、六月十八日（土）記念イベントを開催した。

記念イベントに先立ち、広場敷地内に移設した「ほたて供養塔」前において、ほたて供養祭が執り行われ、続いて記念イベントが行われた。

主催者を代表して、三津谷廣明むつ湾漁業振興会会長は「むつ湾ホタテはむつ湾のきれいな海で育てられ、グロコージュをたつぷりと含み風味豊かで県内外の多くの方々から大変おいしいと親しまれている。本日のイベントを機に、むつ湾ホタテを県内外の方々にも宣伝して頂きたい」と来場者にメッセージを送った。



焼きボイルホタテ試食会



ボイルホタテとウチワの無料配布



ホタテ貝の早剥き競争

今年のイベントは、先着千名にボイルホタテ（約十五玉入）と記念ウチワのプレゼント、焼きボイルホタテ試食会、ホタテ貝早剥き競争が行われ、来場者は順番に並んでプレゼントを受け取った後、鉄板焼きのボイルホタテを味わっていた。

また、ホタテ貝の早剥き競争では、むつ湾漁業振興会の蝦名年實現事・阿部市範理事が貝剥きのお手本を見せたあと競技が行われ、慣れない手つきで悪戦苦闘しながらも楽しんでいった。

六月十八日「ホタテの日」学校給食へホタテ贈呈

本県の最重要魚種である青森ホタテのPRと消費拡大をより一層促進するため、青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会は、平成十年度に「ホタテの日」を毎年六月十八日と制定した。

これを記念して、去る六月九日（木）、両団体は十和田市と六戸町の小・中学校の学校給食の食材として、ボイルホタテ四百キロ（八千食分）約五十万円相当を十和田・六戸学校給食センターに寄贈し、十和田市役所において給食センターを運営する十和田地域広域事務組合の管理者である中野渡春雄十和田市長に目録を手渡した。

三津谷廣明むつ湾漁業振興会会長は「今年は、ホタテガイの生育も順調で、むつ湾のキレイな海で育ったホタテガイは、六月が一番おいしい季節なので、将来を担う子供達に是非、むつ湾ホタテの美味しさを知っていただきたい」と述べた。

中野渡市長は「ホタテガイは健康に良いと聞いているので子供達も喜びます。子供達が地元特産品への関心を高め、自



目録を手渡す三津谷会長（左）

然の恵みの大切さを感じてくれるものと思います。寄贈していただいたむつ湾のホタテガイを大切に調理して、子供達に食べさせます」と、お礼の言葉を述べた。十和田・六戸学校給食センターでは、寄贈されたボイルホタテを七月十四日の給食で、ホタテとマカロニのクリーム煮に調理して配食した。



お礼を述べる中野渡市長

水産に関する主な動き (4月～6月)

4月	事 項	場 所
6日(水)	IQ堅持・燃油高騰対策等全国漁業者代表集会	東京都
15日(金)	青森県昆布協会通常総会	青森市
16日(土)	ほたて広場竣工式・開業式	青森市
20日(水)	青森県漁協専務参事会研修会、通常総会	野辺地町
21日(木)	青森県海藻干魚会通常総会	青森市
26日(火)	鱒ヶ沢町・深浦町地区漁協合併研究会	深浦町

5月	事 項	場 所
2日(月)	青森県小型いか釣漁業協議会通常総会	青森市
9日(月)	青森県漁協等経営基盤強化対策協議会	青森市
9日(月)	北海道沖合におけるいか釣と沿岸各種漁業との操業協定会議	青森市
18日(水)	青森県ほたて漁業振興基金通常総会	青森市
18日(水)	青森県漁業環境保全振興協会通常総会	青森市
23日(月)	ホタテガイ残渣処理対策協議会	青森市
24日(火)	スルメイカ販売協議会	青森市
27日(金)	青森県漁村活性化対策協議会	青森市
27日(金)	青森県沿岸漁業振興協会理事会	青森市
27日(金)	青森県水産振興会通常総会	青森市
27日(金)	青森県漁船海難防止・水難救済会通常総会	青森市
28日(土)	青森県魚市場協会通常総会	青森市
30日(月)	JFマリンバンク青森県支部委員会・幹事会	青森市
30日(月)	青森県漁港漁場協会通常総会	青森市
31日(火)	連合会指導部課長会議	青森市

6月	事 項	場 所
1日(水)	イカナゴ漁業検討会	青森市
1日(水)	ほたて関係組合全体会議	青森市
2日(木)	救難所員指導者研修会	青森市
9日(木)	十和田地域広域事務組合へのホタテ贈呈式	青森市
9日(木)	鱒ヶ沢・深浦地区漁協合併研究会・推進協議会設立総会	深浦町
10日(金)	海上保安協会青森支部通常総会	青森市
11日(土)	函館渡島地区・松山地区とのいか釣漁業関係者情報交換会議	青森市
13日(月)	青森県漁協経営安定対策協会通常総会	青森市
14日(火)	青森県漁業経営安定対策本部通常総会	青森市
14日(火)	青森県漁業協同組合連合会通常総会	青森市
15日(水)	全国水産業協同組合連合会青森県推進本部通常総会	青森市
15日(水)	青森県漁業信用基金協会通常総会	青森市
16日(木)	青森県漁場監視団連合会通常総会	青森市
16日(木)	さけふ化放流事業に係る要望(東通村)	青森市
17日(金)	青森県ほたて流通振興協会30周年記念並びにほたて広場開業記念式典	青森市
18日(土)	ほたて供養祭	平内町
18日(土)	ホタテの日記念イベント	平内町
21日(火)	八戸沖操業協定に係る管理委員会	東京都
23日(木)	青森県信用漁業協同組合連合会通常総会	青森市
23日(木)	青森県漁業共済組合通常総会及び創立40周年記念式典	青森市
27日(月)	平舘・蟹田地区漁協合併研究会	青森市
30日(木)	むつ湾漁業青色申告会連合会研修会・通常総会	青森市

浜の情報・話題



蟹田町漁協

青森県漁業環境保全振興協会では、「環境保全対策事業」の一環として、平成十五年度から漁協の敷地内などに「はまなす」の苗木を植樹しております。今年度は、五月中旬から六月初めに、蟹田町漁協、深浦漁協、野牛漁協の三漁協のご協力を得て、三ヶ所で三百本を植樹しました。この事業は、来年度も計画しておりますので、各漁協の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

「はまなす植樹」活動

～ご協力ありがとうございました～



深浦漁協



野牛漁協

第24弾

期間 平成17年6月25日～8月31日

北国青森のさけ・ほたて キャンペーン

① マークの商品はクール便でお届けします
② マークの商品は冷凍便でお届けします
※すべて送料、消費税込みの価格です



青森県漁業協同組合連合会

<http://www.amgyoren.or.jp/>

8月1日～7日は青森ねぶた祭り期間中につき発送が大変混み合いますので、ご注文は祭り期間外にされるようお願いいたします。



青森のさけ
約2.8kg

限定50本

2,300円

浜の情報・話題

青森県漁業信用基金協会より

沿岸漁業地域の活性化と沿岸漁業者の幅広いニーズに応えた新たな資金
担保・保証人は全く不要 基金協会が保証します!!

用 途	資 金	貸 付 限 度	期 間	保 証 料	審 査
生 活 (自動車・生活関連全般)	小口目的資金	3,000千円	5年以内	0.65%	スコアリングシートによる一括審査
事 業 設 備 (機器・資材購入)	沿岸漁業推進資金	3,000千円 未 満		0.52%	
事 業 運 転 (出漁・小修理)	沿岸漁業運営資金	2,000千円	1年以内		
購買未収金整理 (購買未収金の資金化)	系統購買再生資金	3,000千円 未 満	5年以内	0.39～ 0.69%	

**JF共済 新チョコ誕生記念
ロケットスタート!キャンペーン**

チョコが新しく生まかわりました!

日帰り入院より
保険しやす

一生運にわたる
入院保険を新設
しました

1入院の保険日額
を1,200日に拡
大しました

1入院保険日額
を25,000円
に拡大しました

通院保険日額を
5,000円に拡
大しました

キャンペーン期間 平成17年6月1日～9月30日

期間中のチョコ加入者
オリジナルトートバッグプレゼント

JF/JF共水連青森

共水連青森事務所より

「浜に地域にJF共済」

JF共済チョコが新しくなりました!
ただいま新チョコ誕生キャンペーン実施中!!

浜の情報・話題

(社) 青森県漁港漁場協会より

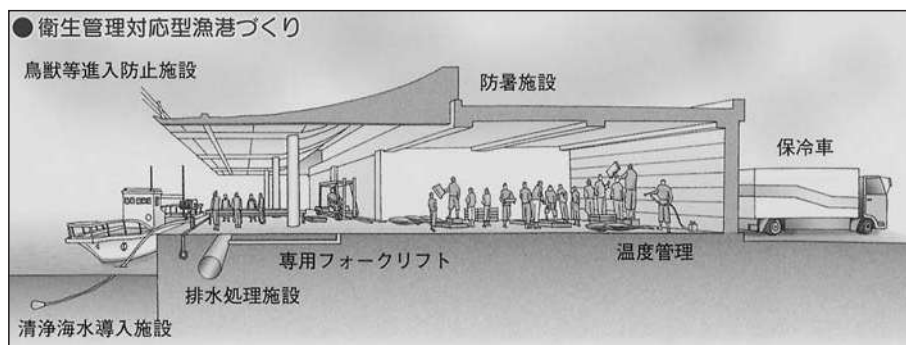
当協会は、沿岸市町村及び漁業協同組合等が会員となって、漁港、漁場及び漁村の総合的整備促進を通じて、漁船の安全、漁業生産の拡大及び水産物の流通改善を図り、安心・安全な水産食糧の供給確保と地域社会の発展に資するため、次の事業を推進しています。

◎ 漁港、漁場漁村整備の概要

1. 漁港の整備

漁港は水産業を支える社会基盤として、国民へ水産物を安定的に供給する役割を果たすとともに、漁港背後の漁村住民の生命や財産の保全、国民の海洋性レクリエーションのニーズに対応した余暇空間の提供、災害時の物資運搬の拠点等多面的機能を有するものです。

近年はハサップ対策として衛生管理型の漁港づくりも行っています。



2. 漁場の整備

- 魚礁施設 魚類の蛸集、発生及び生育が効率的に行われ生産性の高い魚礁漁場を造成するために、コンクリートブロック等の構造物を海底に設置することにより水揚げの増大をはかるものであります。
- 増殖施設 アワビ、ナマコ、コンブ等の有用水産物の発生及び生育に適した環境を整備するために投石やコンクリートブロック等の着定基質や消波施設等を設置することにより水揚げの増大をはかるものであります。

3. 漁村の整備

漁村の生活環境の改善のため、漁業集落排水事業や漁村の活性化を図ることを目的に事業推進に努めています。

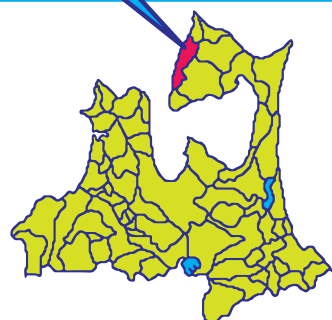
県内漁協職員紹介

佐井村漁協

佐井村は、本州最北端、マサカリ半島とも呼ばれる下北半島の刃の部分に位置し、対岸に津軽半島を望み、面積135km²、人口2,922人、漁業が基幹産業の村です。

海岸線39.3kmのうち、2kmにわたる仏ヶ浦の奇岩の凝灰岩は長年の強風や荒波にさらされて形成されたもので、仏像を思わせる姿かたちから観光名所として知られてあります。

今回は、津軽海峡の荒波で育った新鮮な海の幸を自営の加工場で加工・販売して定評のある「佐井村漁協」の皆さんをご紹介します。



1. 七戸宗徳
2. 総務部長
3. 釣り
4. 真鯛と平目釣りに夢中です。釣った魚で一杯が最高！



1. 内藤 司
2. 業務部長
3. フォークギター、潜水
4. 日常一番の楽しみは晩酌。ただ最近健康を考え飲量を減らそうと思ってます。



1. 宮川徳之
2. 総務課長兼無線局長
3. 特になし
4. 最近、小型船舶操縦の免許を取ったので釣りでもはじめようかと思っています。



1. 木部 司
2. 共済経理課長補佐
3. BBQ (バーベキュー)
4. 最近α (アルファ) リポ酸を飲んでダイエット中！効果絶大。



1. 七戸尚子
2. 共済経理課長
3. 読書 (JF 共済総合カタログ?) ショッピング、釣り
4. 子供が二人共就職ひと安心！明るく楽しくをモットーにいつまでも風呂あがりのビールがおいしいと感じられる健康体でありたいと思ってます。



1. 内田誠一
2. 購買課長
3. オートバイでのツーリング (大型免許がほしい)
4. 何事も楽しく出来れば良いと思っている人である。



1. 福田 忍
2. 販売課長
3. 釣、パチンコ
4. 酒が大好き人間です。



1. 大石光仁
2. 総務係
3. 釣り
4. 最近、オートバイの免許を得たのでツーリングにでも行こうかなと思ってます。



1. 池田正樹
2. 販売係長
3. 犬の散歩
4. 家に帰って子供と遊ぶのが毎日の楽しみです。



1. 田中 均
2. 販売係長兼牛滝加工場長
3. 釣り、スキューバもぐり
4. 花嫁募集中！



1. 荒川一雄
2. 販売課長補佐
3. 山、川で自然を楽しむ
4. 精算業務が忙しく、休みが無くて、何にも出来ません。



1. 川畑信広
2. 加工課長補佐
3. 前はゴルフだったんだけど今は釣りです。(船で)
4. 特になし



1. 若山秀己
2. 加工係長
3. ボーとする事かな。
4. 近頃、子供とキャッチボールをする度に歳だなあと感じる様になりました。



1. 山本秀志
2. 加工課長
3. キノコ栽培、料理
4. ヘタな酒のつまみを作って苦手の缶ビール (350ml) 1缶を空ける練習をしています。



1. 氏名 2. 担当業務 3. 趣味・特技 4. 自己PR

平成17年 7月25日発行
◇発行◇
青森県漁業協同組合連合会
青森市安方一丁目1番地32号 TEL 017-722-4211(代)
◇印刷◇
不二印刷工業(株) TEL 017-741-5439

七月二十八日に「JF経営改革漁協合併促進大会」を水産ビルにおいて開催いたしました。大会の主旨である十七年度末までに事前認定漁協の認定を受け、合併促進法の期限である十九年度末までに基盤のしっかりとした自立漁協を構築するため、がんばりましょう。

編集後記